

4月19日(火)に、熊本地震の被災地に向け、海上自衛隊八戸航空基地に所在する機動施設隊の隊員27名が派遣されました。機動施設隊の災害派遣は、平成23年3月の東日本大震災に続き2回目となりますが、今回のように長距離を機動展開し、災害派遣活動を行うのは初めてとなります。八戸航空基地備蓄の飲料水等、救援物資約1.6トンを搭載したダンプトラックのほか、クレーン付トラックや給水車など計10台の車両で出発しました。八戸から熊本まで約1940kmという長距離となりますが、安全に留意し移動するとともに、海上自衛隊唯一の施設部隊として日頃の訓練成果を発揮して、少しでも被災者の力になれるように努めたいと思います。



救援物資をダンプトラックに搭載する機動施設隊の隊員



出発の挨拶を行う派遣隊長



正門から出発する様子